



22年W杯 日本落選

中東初カタール 18年ロシア



2022年W杯のカタール開催決定を伝えるFIFAのブラッター会長（AP）

【チューリヒ（スイス）＝村上研志】サッカーの世界カップ（W杯）2018、22年大会開催地を決める国際サッカー連盟（FIFA）理事会の投票が2日、当地であり、18年大会はロシア、22年大会はカタールで行われることになった。日本は22年大会に立候補し、02年の日韓大会以来2度目の開催を目指したが、落選した。

18年大会にはイングランド、ロシアが単独開催、スペインとポルトガル、オランダとベルギーが共

催で名乗り。22年大会は日本、韓国、オーストラリア、カタール、米国が単独開催を目指した。ロシアとカタールは、いずれも初めてのW杯開催。東欧と中東で開かれるのも初めてとなる。

単独開催を目指した日本は、最新の技術を駆使して試合の立体映像を世界に配信するといった「次世代W杯」を提案し、前回開催から20年しか間がないという批判を打ち消す戦略だった。14年大会はブラジルでの開催が決まっている。